

進取の氣

自分から進んでものごとを行う心



中野小屋地区防災訓練

6月22(土) 10:00~12:00 (中野小屋中学校・JA 加工所)



地域防災組織が設立(令和6年8月29日)して、2度目の中野小屋地区防災訓練が、6月20日(土)に実施されました。今年度は、中野小屋中学校区の三校(中野小屋中学校・小瀬小学校・笠木小学校)の児童・生徒、保護者、教職員が参加しての防災訓練でした。新潟大学災害・復興科学研究所 所長(教授)の講演「長岡平野西縁断層と地震」で始まり、5つのワークショップで体験型の訓練を行いました。同時に、日本赤十字社新潟県支部奉仕団による炊き出し訓練(地域住民も参加)も行われ、参加者には炊き出しの白米(おにぎり)が振舞われました。中学生は、講演会から、小学生はそれぞれの学校で保護者への引き渡し訓練の後、ワークショップから参加しました。

開会式(写真右上)は中野小屋地区自主防災 ○○ 会長のあいさつから始まりました。の様子。写真(左下)は閉会式の様子です。写真(中央)の閉会式では、コミュニティ中野小屋 ○○事務局長の進行で、訓練にご協力いただいた消防団中野小屋分団の方々、日本公衆電話会の方々、日本防災士会・新潟県支部の○○防災士さんが紹介されました。

訓練に参加した中学生の感想とワークショップの様子をお知らせします。

今日の地域合同防災訓練の活動を通じて、中学生として出来そうなことは見つかりましたか。～事後アンケートより～

日頃から災害時に使える物をリュックに入れておきたい。日頃から、災害について考えておくことで災害時に迅速に動けると思った。
2年生

自分たちが積極的に動かないといけないと改めて実感できた。段ボールベッドも意外と簡単にできそうだなと思った。
3年生

私たち子どもでも、人を助けられることができそうだし、他の人を助けるだけでなく、自分から情報を発信することも大切なかもしれないと思った。
2年生



「講演会を聞いて日常生活で気を付けようと思ったこと。」

- ・避難するところを決めたり防災マップを見たりすること。
- ・防災バックを玄関や近い所に置いておくこと。
- ・非常用バッグや備蓄食料などを日頃から準備していなければならないこと。
- ・津波は来ないけど、新川の洪水には気を付けること。
- ・場所によって震度が変わることと避難の仕方。

約7割の生徒が、防災意識が高まったと回答しました。



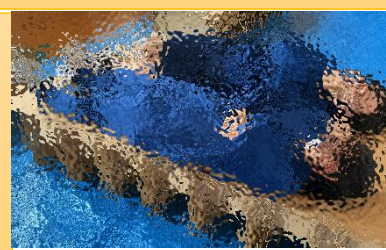
心肺蘇生(しんぱいそせい)

- ・AED を使った時は少し戸惑ってしまったので、今日のことはしっかり覚えておきたいです。
- ・AED はシートを一度付いたら外さず、流れてくる音声を頼りにする。
- ・心臓マッサージは、手のひら全体で心臓を押すのではなく、手の付け根で強く押し出すことが大切だと思った。
- ・前に重心をかけながら真っ直ぐになるように圧迫するといいと学んだ。



段ボールベッド

- ・簡単に組み立てられて、その上頑丈なので便利だと思いました。
- ・段ボールベッドに寝てみても、安定していました。
- ・作るのも片付けるのも思っていたより簡単でした。
- ・自分で組み立てたり片付けることができて良かった。



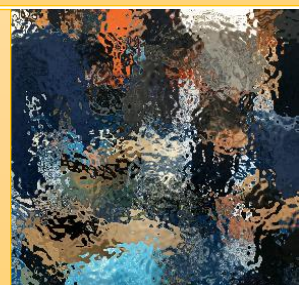
公衆電話・災害伝言ダイヤル

- ・171を覚えておきたいです。
- ・災害伝言ダイヤルというものを初めて知りました。緊急時は活用したいです。
- ・やり方が難しかった。本当に使う場面があったら少し不安です。
- ・家の電話番号や親の携帯電話の番号を覚えようと思った。
- ・自分の伝えたいことが残せるからとても便利だと思った。



簡易トイレ

- ・高齢者の方でも簡単に使えると思った。テントで個室になっているものがあり安心だった。
- ・ポリマーは水を吸収できることが分かったし、簡易トイレ用の袋ももらえてうれしかった。
- ・使い方も簡単だったので、災害時にすぐに使えるのがすごいと思った。



防災士による防災クイズ

- ・今まで知っていたことも知らなかったことも確認できて良かったです。
- ・災害発生時に、1日に3リットルもの水が必要なが分かった。
- ・非常食を用意しておきたいと思った。
- ・クイズ形式で覚えることができて良かった。意外と知らないことも知ることができて良かったです。
- ・いろいろなことが分かって良かった。ハザードマップも、ちゃんと見ようと思った。



生徒の「意外と簡単だった」や「～が必要」「～しようと思った」という感想から、体験することや日頃の備え、心構えが大切だとあらためて気づかされました。ご家庭でも写真や感想を基に防災についてお話いただければ幸いです。今後も「地区防災訓練の日」に中学校区の三校が参加することで、防災意識を高めていきたいと思います。 文責:校長

